

事業番号	06 04 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	流域下水道事業	部局	環境部	課・室	水道・生活排水課				
		実施期間	S46 ～	E-mail	seikatsuhaisui @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

- ・流域下水道終末処理場（諏訪湖流域、千曲川流域、犀川安曇野流域）の整備及び汚水処理機能を維持するための改築更新などを実施
- ・都道府県構想に基づき、施設の計画的な改築更新等による持続可能な生活排水対策を推進する必要がある。
- ・令和6年能登半島地震を受けた耐震化対策や頻発、激甚化する豪雨により処理場が浸水しても機能を損失させない対策が必要である。

2 事業目的

快適な生活環境と良好な水質保全を図る。

3 事業目的を達成するための取組

- ①老朽化施設の改築更新
- 適切な汚水処理機能維持のため、膨大な施設の状況を客観的に把握、評価し、長期的な施設の状況を予想しながら、下水道施設を計画的かつ効果的に管理するストックマネジメント計画に基づき、施設・管渠の改築更新を推進
- ②防災対策の推進
- 令和6年能登半島地震を受け、処理場などの耐震化対策を進めるとともに、100年に1度の確率で発生すると想定される大雨に備えるため、各処理場で防水ドア、防水シャッターの設置や窓の閉塞などの耐水化対策を推進

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	設備の改築・更新数（累計）	箇所	29	29	→	33	↗	40	未達成 長野県流域下水道事業経営戦略において、令和10年度までに87施設の完了が目標であり、令和7年度においては40施設の完了を目標としている。
②-1	耐震化完了施設数（累計）	箇所	21	21	→	21	→	25	未達成 長野県流域下水道事業経営戦略において、令和10年度までに28施設の完了が目標であり、令和7年度においては25施設の完了を目標としている。
②-2	耐水化完了施設数（累計）	箇所	6	6	→	11	↗	15	未達成 長野県流域下水道事業経営戦略において、令和10年度までに22施設の完了が目標であり、令和7年度においては15施設の完了を目標としている。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
1-3①	社会的なインフラの維持・発展	污水处理人口普及率	%	2023 (R5)	98.3	2024 (R6)	98.4	2025 (R7)	98.5	2027 (R9)	98.6

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R7年度	2,491,531	5,371,256	60,000	7,922,787	69,308	4,182,768	28.0
R6年度	2,458,511	5,289,186	0	7,747,697	62,987	4,304,471	28.0
R5年度	2,462,607	5,960,673	0	8,423,280	54,509	3,875,491	28.0

事業番号	06 04 02	事業改善シート（令和 7 年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	流域下水道事業			部局	環境部	課・室	水道・生活排水課		

7 主な取組実績と成果

①老朽化施設の改築更新

適切な汚水処理機能維持のため、膨大な施設の状況を客観的に把握、評価し、長期的な施設の状況を予想しながら、下水道施設を計画的かつ効果的に管理するストックマネジメント計画に基づき、施設・管渠の改築更新を推進

（主な完了工事）

・千曲川流域下水道上流処理区 焼却炉改築更新工事完了（令和 2 年度からの継続工事）

②防災対策の推進

令和 6 年能登半島地震を受け、処理場などの耐震化対策を進めるとともに、100年に 1 度の確率で発生すると想定される大雨に備えるため、各処理場で防水ドア、防水シャッターの設置や窓の閉塞などの耐水化対策を推進

（主な完了工事）

・犀川安曇野流域下水道 管理棟耐水化完了（他の棟屋についてはR 8 年度完了予定）

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	設備の改築・更新数（累計）	R6年度推移	→	R7年度推移	↗	達成状況	未達成
物価高騰による入札不調等により、当初の計画に基づき施策を進めることが出来なかったため。							
指標 ②-1	耐震化完了施設数（累計）	R6年度推移	→	R7年度推移	→	達成状況	未達成
物価高騰による入札不調等により、当初の計画に基づき施策を進めることが出来なかったため。							
指標 ②-2	耐水化完了施設数（累計）	R6年度推移	→	R7年度推移	↗	達成状況	未達成
物価高騰による入札不調等により、当初の計画に基づき施策を進めることが出来なかったため。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

長野県生活排水処理構想（2022改定版）に基づき、施設の計画的な改築更新等による持続可能な生活排水対策に加え、能登半島地震を踏まえた耐震化の推進と激甚化する豪雨により処理場が浸水しても機能を損失させない耐水化対策、埼玉県八潮市の道路陥没事故を踏まえた管路施設の効率的な改築更新を実施する。

(2) 事業改善の方策

令和 6 年 3 月に改訂した「長野県流域下水道事業経営戦略」に基づき、これからの人口減少化においても将来にわたって継続して運営できるよう、また災害時においても処理を継続できるよう施策を推進する。

事業番号	06 04 02	細事業一覧（令和7年度実施事業分）		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	流域下水道事業		部局	環境部	課・室	水道・生活排水課

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	流域下水道事業（公共・県単【下水道】）		3,875,491 千円	4,304,471 千円	4,182,768 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	諏訪湖流域下水道の施設整備	直接 委託	管渠：湖周幹線改築更新工事 管渠：下諏訪ポンプ場土木建築設備工事 等 整備箇所数：9箇所		
2	千曲川流域下水道（下流処理区） の施設整備	直接 委託	管渠：特殊人孔耐震診断 処理場：No.2消化タンク改築工事 等 整備箇所数：4箇所		
3	千曲川流域下水道（上流処理区） の施設整備	直接 委託	管渠：特殊人孔耐震化工事 処理場：1号焼却炉改築（土建）工事 等 整備箇所数：7箇所		
4	犀川安曇野流域下水道の施設整備	直接 委託	管渠：耐水化対策工事 処理場：管廊耐震工事 等 整備箇所数：8箇所		